

ふくしま 市議会だより

Vol.211

今回の主な内容

- 代表質問……………2
- 一般質問……………4
- 常任委員会審査……………6
- 議案等の審議結果……………7
- 議会基本条例の取組状況を検証…8
- ホームページのご案内……………8
- 市議会のしくみ……………9
- 議会報告会・意見交換会開催結果…10



12月定例会議を開きました<11月30日～12月17日(18日間)>

11月30日開会 本会議・委員会

- ・市長から議案29件、報告1件を提出後、所信表明、提案理由を説明
- ・先議議案の審議、常任委員会審査、採決

トピックス

12月8日～9日 本会議(代表質問)

各会派の代表6人が登壇、施政方針などに関して質疑、応答

12月9日～13日 本会議(一般質問)

10人の議員が登壇、市政の諸課題などに関して質疑、応答

2～5ページ

12月10日 本会議・委員会

- ・市長から議案10件を追加提出後、提案理由を説明
- ・うち1件を先議、常任委員会審査、採決

トピックス

12月14日～15日 常任委員会

議案や陳情を審査

6ページ

12月17日閉会 本会議・委員会

- ・各常任委員長から審査の経過と結果の報告後、討論、採決
- ・追加議案の審議、常任委員会審査、採決

7ページ

議会トピックス

12月定例会議

◆11月30日に開会、初日に議案を先議

- 新型コロナウイルス感染症対策補正予算など
 - ・新たなビジネスモデル創出支援事業費
 - ・ワクチン接種体制確保事業費 など

新型コロナウイルス感染症に関する対策やワクチン、支援などの情報はこちらからご覧ください



◆市長が連携中枢都市を宣言

近隣3市3町2村を想定した広域連携により魅力あふれる圏域を実現するため、議会で宣言を行いました。

◆12月10日に議案を先議

追加提案された議案のうち、子育て世帯等臨時特別支援の補正予算は、早急に支給するため同日先議

◆最終日に追加議案を審議

●新型コロナウイルス感染症対策補正予算

- ・子育て世帯等臨時特別支援
国の指針が示されたことから、10日に先議した支給金額を変更 →詳しくは6ページへ
- ・住民税非課税世帯等臨時特別給付金
支給対象：令和3年12月10日現在福島市に住民登録のある住民税非課税世帯等
支給金額：1世帯あたり10万円

12月27日緊急会議を開催しました

新型コロナ・原油高対応緊急生活支援事業の補正予算案を審議、可決しました。

主な内容

- ・“値引き型”市民生活エールクーポン

詳しくはこちらをご覧ください



タイトル写真：旧堀切邸つるし雛

飯坂町にある旧堀切邸は、江戸時代から続いていた豪農・豪商の旧家で、主屋に隣接する蔵には展示スペースもあります。詳しくはこちらからご覧ください。

写真投稿者 tk_km_113 様
wakufuku より



市政を問う！

代表質問Q&A

真政会



市長の施政方針

こまつ 小松 良行 よしゆき

Q 2期目の福島市長として市政執行の基本方針は。

A 新型コロナウイルス対策を何より優先し、感染防止を徹底しながら、暮らしや地域経済の再生を図る。

人を集め定着を図るため、防災や環境、健康・福祉・医療の安全安心の基盤に立ち、子育て・教育で選ばれる都市をつくり、仕事を豊富にし、賑わいと文化を振興して、都市としてのグレートアップを進めていく。移住定住の直接的施策を展開するとともに、女性が活躍できる環境づくりを推進する。さらにデジタル対応が不得手な方々への配慮をしながら、デジタル化による社会変革を推進し、持続可能な行財政経営に努めていく。

その他の主な質問



- ① 新型コロナウイルスによる経済打撃を受けた事業者や生活に困窮する市民の現状と今後の施策
- ② 連携中枢都市圏形成の取り組みと

政策的課題などの検討状況

- ③ 本市の学力・学習状況調査結果の評価と全国ランキングの位置
- ④ 障がい者の社会参画拡充に向けた取り組み状況

真結の会



デジタル社会へ向けた取り組み

すずき 鈴木 正実 まさみ

Q デジタル社会の構築に向けて民間活力と多くの市民との共創が不可欠だが今後の取り組みは。

A 民間のサービスや知見などのデジタル技術の活用や市民と地域の課題などに取り組んでいくことが重要である。

民間企業などと共創で最新ICT技術の実証事業を実施し、効果を検証するなどの取り組みを行い、電子町内会モデル事業では、コロナ禍における地域コミュニティの維持と迅速な情報伝達のため、市民の皆さんと検証を進めている。

今後、デジタル化推進体制を整備し、デジタル技術のアイデアや知見について、民間企業などとの連携を広げ、電子町内会の拡充、地域コミュニティの中でスマートフォンなどの使い方などをアドバイス、サポートできる人材の育成などに取り組むなど、民間企業などや市民との共創で地域社会のデジタル化を推進していく。

その他の主な質問



- ① テレワークやリモートワークなどの新たな働き方により、首都圏の人口を地方に導くチャンスが生まれたことへの今後の取り組み
- ② オンライン授業のさらなる活用と不登校やいじめ、特別支援教育などの果たす役割
- ③ 特定分野に精通した職員の育成を図る複線型人事への見解
- ④ コロナ禍により特に大きな影響を受けている飲食業、観光業、交通関係事業の再生

市民21



新型コロナウイルス対策として必要な支援



うめつ 梅津 政則 まさのり

Q 新型コロナウイルス対策の支援が行き届いていない方々の現状認識と今後の必要な支援の見解は。

A 支援が行き届かない事業所、生活苦に陥っている方々へ、独自の支援を行ってきた。

医療機関に対して、医療資材を提供したり、救急医療維持のための支援などを行った。事業所に対して、迅速な支援を実施した。

ふくしま市民生活エールクーポン事業は、2度実施し、エールクーポンを活用した妊娠期・出産期支援、

ひとり親家庭などの支援と、市民生活の一助とし、多業種の経営支援にも繋がった。

国制度の基準日以降に誕生した赤ちゃんへの10万円給付、低所得世帯対象の家庭内インターネット環境整備支援のほか、マスクや衛生資材の提供、こども食堂への食材調達支援など幅広い支援に努めた。

今後米の消費促進を図るための福島産米消費喚起事業や、ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金事業などを実施する。

支援の周知に努め、国、県の支援策を注視し、必要に応じて独自の支援を機動的に講じていく。

その他の主な質問



- ① 安心安全についての所見と脅威を回避していくビジョン
- ② 子育てと教育の混同について親の責任と教育現場において担う役割
- ③ 魅力ある仕事づくりについて、様々な業種・住民・企業・NPOなどへの係わり方や共創の在り方
- ④ 市内や福島圏域にある数えきれない宝への所見と、まちづくり



にたでの施い議論の中よ1件4件掲載しています。

市長選挙後、12月6日、各会派が、6人の議員が、政策の行い、代表質問、質問、答弁、その他の質問、掲載しています。

日本共産党



本市のゼロカーボン

シティ宣言
山田 裕

やまだ 裕

Q 国のエネルギー基本計画では、2030年度の原発発電量を現在の6%程度から20、22%に引き上げようとしている。

A 国が将来を見据えたエネルギー政策の観点や住民の安全安心の観点などから総合的に判断すべきものと考えます。

その他の主な質問



① 学校給食は、食育の観点からマンモスセンター化方式に移行するのではなく、自校方式を継続すべきでは

② 福島駅東口再開発事業の工事期間中の空洞化への具体的な対策と想定する効果

③ 燃料高騰とコロナの影響のもと低所得者に対する灯油購入などの助成を市が行うべきでは



公明党



チャイルドファースト

社会の実現
小野 京子

おの 京子

Q 子育て・教育なら福島市として子育て世代が定着するまちの構想とは。

A 妊娠期から子育て期に切れ目なく支援を実施し、待機児童対策パッケージを推進し、保育施設の待機児童数ゼロの維持と入所保育児童の解消を図る。

多様な保育の充実を図り、保育の質を高め、特色ある幼児教育・保育を推進し、創造性や感性を育む魅力ある幼児教育・保育を実践する。

学校教育では、早期に外国語に触れることができる体制を整え、中学校卒業時には英検3級程度の英語力を身につけることができるよう取り組み、ICTを有効に活用した教育も推進していく。

一流アスリートや世界で活躍する著名人に触れる機会や国際的にチャレンジする機会の確保にも努める。

福島型給食推進事業による本市農産物の使用拡大、施設などの保全・改修、公立夜間中学の開校に向けた準備を進めるなど、子育て世代が定着するまちを構築していく。



その他の主な質問

① 市長のこれまでの実績と2期目の施政方針

② 子宮頸がんワクチンのキャッチアップ制度が導入された場合の情報提供の方法と今後の対応

③ 公平・安心社会の構築のためのデジタル化技術を活用した取り組み

耀ふくしま



がん検診実施のための

指針への見解
梅津 一匡

うめつ 一匡

Q 胃がん検診・子宮頸がん検診・肺がん検診・乳がん検診の対象者の年齢上限を69歳以下とする示された指針に対する見解と市民検診事業への影響は。

A 国のがん検診の目的は、がんの予防および早期発見により、がんの死亡率を減少させることとしている。

指針に基づくがん検診の対象者については、受診を特に推奨する者を40歳から69歳以下の者としているが、受診を特に推奨する者に該当しない者であっても、受診の機会を提供するよう留意することとしている。年齢の上限を決めずに受診を希望する

方が、がん検診を受診できるようにしていく。

その他の主な質問

① 新型コロナウイルス接種実施医療機関への誤接種防止の対策・注意喚起

② ごみ減量大作戦の成果と課題、ごみ減量に向けての今後の施策

③ 市立小・中学校・特別支援学校と学区内の高等学校などの防犯情報の情報共有に関する連携体制の現状と今後の連携強化

④ 福島市消防本部と福島消防署の移転整備推進の検討状況と今後の取り組み、スケジュール



あなたの写真を市議会だよりの表紙に!? 【Instagram】わくわくする福島市の 写真は #wakufuku で!

#wakufukuの中から市議会だよりの表紙に使用させていただきます場合があります。ぜひご投稿ください。
#wakufukuとは?
わくわくする福島市の写真をInstagramに投稿してほしい! そんな願いから生まれたハッシュタグです。

詳しくはこちらをご覧ください



市政を問う！

一般質問Q&A

一般質問とは？
市民生活の身近な課題について、市議員の皆さんが市議会に質問をします。その中から質のよい質問を1件掲載しています。



産業・経済



コロナ禍からの

温泉地の振興

川又 康彦

Q 市と温泉地、それぞれがコロナ禍からの復興に向け共創の精神で取り組んでいくため、温泉地振興計画を立案、実行することが有効では。

A 複数年度にわたる戦略的な計画の立案と実行が必要であるため、令和4年度から7年度までを計画期間とする福島市新たな時代の観光共創戦略を策定し、各温泉地の振興を進め、飯坂・土湯・高湯を福島三名湯としてブランディングを実施する。

本市が旅行先として選ばれるためには、福島三名湯の魅力向上が重要であり、個性や魅力を生かした温泉地の主体的な取り組みに対し、長期的な視点で伴走支援する。



福島駅東口地区

市街地再開発事業

石山 波恵

Q 市が計画しているコンベンションホールについて基本設計の進捗状況は。

A 市が取得予定の福島駅前交流・集客拠点施設について、福島駅東口地区市街地再開発組合が実施設設計に着手している。市の整備基本計画のコンセプト、ウィズコロナ、ポストコロナ時代を踏まえた施設の在り方などを検討し、反映されるよう、劇場ホールや音響、照明など、各分野の経験豊富な専門家3名に実施設設計会議に参加いただき、具体的な協議を進めている。

施設の供用開始に向け、コンサートや演劇、学会や各種発表会など、興行や催事の早期誘致活動を進めるため、効果的な運営手法や運営組織についても検討を開始した。



農業経営開始支援事業

佐々木 優

Q 今後さらなる農業従事者減少への対策として、金額や人数の拡充が必要では。

A 新規就農者を含む農業担い手の確保・育成を農業の重要課題としてとらえ、市独自の施策として令和元年度から支援を開始し、令和2年度には人数を拡充した。

令和3年度以降については、期間内での離農者がいないことなどから、支援月額の見直しは行わないが、農業後継者や新規就農者を確保するため、交付要件に合致する希望者すべてが支援可能となるよう予算措置を行う。



福祉・健康



子どもを虐待から

守る取り組み

佐原 真紀

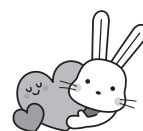
Q 虐待を早期発見するための人材育成は、どのように行われているのか。

A 虐待を早期発見できる人材育成のため、保育所や幼稚園などを対象とした研修会の開催、主任児童委員や県北地区スクールソーシャルワーカーの研修会へ講師派遣、高校や短期大学において児童虐待の授業を行うなど、児童虐待への理解と早期発見の通報につながる取り組みを実施している。

小・中・特別支援学校の教職員に、

生徒指導に関する各種研修の機会を捉えて、虐待の種別や虐待が疑われる場合の学校・教職員の役割、通報の判断などの研修を行っている。

特にカウンセリング研修では、子どもの些細な変化を見逃さないよう子ども理解についての研修を行っている。



認知症高齢者の
事故やトラブルと

自治体独自の救済制度

二階堂 武文

Q 認知症高齢者と家族が安心して暮らせるまちづくりの具体的な施策の実現に踏み切る時では。

A 民間保険会社で、認知症高齢者による賠償事故に対応した商品開発を積極的に進めており、まずは認知症高齢者の家族などに周知を行う。

自治体による保険加入支援については、全国市長会で国に対して認知症患者が起こした事故に対する損害賠償請求に係る支援制度の創設を提言しており、その状況を注視し、政策効果のさらなる検証、運用に当たった課題などを踏まえ、今後の対応を検討する。





生活困窮者支援と住宅

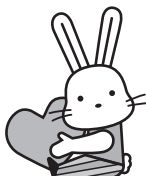
セーフティネット

小熊 省三
おぐま しょうぞう

Q 国は、失業などにより居所のない生活保護の申請者が、路上からやむを得ず一時的にカプセルホテルなど民間宿泊所を利用した場合、必要な宿泊料の支給を認めているが、市の運用は。

A 令和3年度に、1件適用した事例があり、令和2年度も2件適用、平成27年11月にも適用した実績がある。

今後も、必要に応じて適用する。



新型コロナウイルス

ワクチン接種

高木 直人
たかぎ なおと

Q 1・2回目の接種予約からの改善策として、予約システムの改良やコールセンターの体制強化などが図られるが、どの程度予約の混雑を緩和できると見通しているのか。

A 3回目の追加接種について、原則2回目の接種を終了し8カ月以上経過した方が対象となり、接

種可能日となる8カ月後の日の2週間前までに順次接種券を発送する。

予約開始日は、接種可能日の一定前の日に設定する予定で、対象者のおのちに予約可能日が設定されることから、予約も分散化すると考えている。

そのうえで、予約システムの改良とコールセンターの体制強化により、円滑に予約を受け付けできるよう努める。

また、スーパーや郵便局に予約サポーターを配置する予定であり、これらの予約方法の改善により、接種日や会場などに特段の希望がなければ、その日のうちに予約は取れるものと見込んでいます。



まちづくり



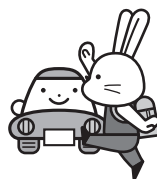
中心市街地活性化

斎藤 正臣
さいとう まさおみ

Q 国道13号線栄町交差点のスクランブル化を社会実験として実施できるよう関係機関に働きかけるべきでは。

A 福島警察署と社会実験について協議した際、現地調査・交通解析の結果、現段階では周辺交差点への影響が大きいため、国道13号の渋滞発生が解消され、本施行を前提とした取組でなければ対応は難しいとの見解が示された。

社会実験の試行やそれにつながるような改善策を関係機関に働きかけていく。



教育・文化



東京2020オリパラ
開催を契機とした
スポーツのまちづくり

太平 洋人
おおひら ひろと

Q 障がいのある無に関わらず全ての年代に普及できるスポーツとして、ポッチャの普及推進にどう取り組むのか。

A 街なか交流館や福島トヨタクラウンアリーナに常設コートを設置したり、イベント会場に体験ブースを設置し、気軽に体験できる機会を提供している。

各地区の学習センターなどで用具を無料で貸し出すとともに、競技審判の育成にも取り組んでいる。

今後、市民体育祭への競技採用、市長杯の創設などを検討するとともに、スポーツコミッションによる合宿受け入れや大会誘致を通して、トップパラアスリートの技を間近に見る機会の創出やポッチャの魅力を感じていただける環境を提供し、競技の普及推進を図る。



不登校児童生徒への対応

沢井 和宏
さわい かずひろ

Q 現在、中学校は5校に別室登校生徒の支援を行う生徒支援教員を配置しているが、他の中学校への配置は。

A 生徒支援教員の配置により、不登校傾向にある生徒の学びの保障および学校・学級復帰に一定の成果が見られることから、今後、不登校が課題である中学校へのさらなる配置に向けて、加配教員の増員を県に要望し、生徒支援教員の増員を検討する。



常任委員会の審査

※12月定例会議において4つの常任委員会が開かれ、本会議で付託された議案および陳情の審査を行いました。各常任委員会に付託された議案の中から主な内容をお知らせします。

総務

◆議案審査

・ふるさと納税

ふるさと納税による寄附金額について、今年度11月末までの実績などから当初予算額から2億円増の12億円と見込む。寄附金の増額などに伴い、ふるさと納税ポータルサイトの掲載に要する経費や、決済手数料、返礼品などの経費を追加する。



・工事請負契約（西信中学校屋内運動場改築事業 屋内運動場建築工事）

築55年が経過し、経年劣化が進んだ西信中学校屋内運動場は、耐震補強工事が困難であるため、改築を行う。工事期限は令和4年11月11日、仮契約を令和3年11月12日に締結している。

文教福祉

◆議案審査

・新型コロナウイルスワクチン接種（3回目）

12月に開始する3回目のワクチン接種が、よりスムーズに実施できるよう準備を加速する。予約方法の改善に向けて、接種時期に応じた接種券の発送による予約の分散や予約システムの改良、コールセンターの体制強化、身近なところでのオンライン予約サポート体制の強化を図る。

・子育て世帯等臨時特別支援事業費

18歳までの子どもを養育する世帯への給付金を一括して10万円を支給する。

支給対象：平成15年4月2日以降に誕生した子どもを養育する方
(所得制限あり)

支給金額：子ども1人あたり10万円



経済民生

◆議案審査

・福島米消費喚起事業費

市内病院のコメ購入支援、学校給食での活用、市内飲食店や花回廊スポットを対象としたデジタルスタンプラリーの商品に活用など、市が一定枠（約55トン）を購入する仕組みを設け、市内産米の需要と価格を下支えする。また、市内産米を食べる機会を創出し、継続的に利用拡大する契機とする。



・第2期工業団地整備事業費 (福島おおぞうインター工業団地)

令和6年度の方譲開始を目指し、福島おおぞうインター工業団地拡張に向けた基本設計・補償物件調査に着手する。

開発面積19.4haのうち、約16haを分譲する予定で、大・中・小に区画規模を分け、多様な立地企業のニーズに対応できるようにする。

建設水道

◆議案審査

・自転車利用促進事業費

福島駅東口北自転車駐車場の賃貸借契約が令和4年3月31日で終了となるため、駐輪施設利用者が支障なく使えるように代替となる暫定自転車駐車場を設置する。

候補地は現在有料の駐車場、広場を予定しており、令和4年2月に土地賃貸借契約などの締結や整備を行い、令和4年2月中旬からの供用開始を予定する。

候補地: さんかく広場前南側駐車場



・河川土砂浚渫事業費

大雨による浸水被害の発生を未然に防止するため、市が管理する河川・水路の浚渫を来年の増水期前に間に合うよう、前倒して実施する。

～議案等の審議結果～

結果欄：○→原案可決、同意、認定、採択
×→原案否決、不同意、不認定、不採択

12月定例会議

〔市長提出議案／42件〕

各議案の概要や資料は
こちらからご覧ください。



区分	件名	結果
補正予算案	福島市一般会計（第8号、第9号、第10号、第11号、第12号）、福島市水道事業会計（第1号、第2号）、福島市国民健康保険事業費特別会計（第2号、第3号）、福島市飯坂町財産区特別会計（第1号、第2号）、福島市公設地方卸売市場事業費特別会計（第1号、第2号）、福島市工業団地整備事業費特別会計、福島市下水道事業会計（第2号）、福島市介護保険事業費特別会計（第2号）、福島市後期高齢者医療事業費特別会計	○
条例改正案	福島市手数料条例 福島市古閑裕而記念館条例 福島市産業交流プラザ条例 福島市児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例 福島市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例及び福島市子育てのための施設等利用給付の対象となる認可外保育施設の基準を定める条例 福島市国民健康保険条例 都市計画法に基づく開発許可の基準等に関する条例 議会議員の議員報酬等に関する条例 市長等の給与に関する条例 福島市職員の給与に関する条例等	○
指定管理者指定	パークゴルフ場 宮畑遺跡史跡公園 小鳥の森 公設地方卸売市場	○
人事案件	教育委員会委員任命（高谷理恵子氏） 財産区管理委員選任（土湯温泉町財産区 佐藤千秋氏）	○
その他	民事調停申立て 損害賠償の額の決定並びに和解 字の区域の変更 工事請負契約（西信中学校屋内運動場改築事業 屋内運動場建築工事） 工事請負契約（ふくしま支援学校校舎等改築事業 管理棟改築工事（建築）） 工事請負契約の一部変更（福島市一般廃棄物新最終処分場建設工事） 工事請負契約の一部変更（福島市一般廃棄物新最終処分場浸出水処理施設建設工事） 財産取得（清水支所用地） 財産取得（新学校給食センター整備用地）	○

〔委員会、議員提出議案／4件〕

区分	件名	結果
規則制定案	福島市議会会議規則を左横書きに改める規則	○
条例改正案	福島市議政務活動費の交付に関する条例	○
意見書案	2021年産米価格下落に伴う米政策への対策を求める意見書 原油価格高騰に対し国民生活を守るための施策を講ずることを求める意見書	○

〔陳情／2件〕

区分	件名	結果
陳情	灯油代等暖房費を助成することについて 灯油代等暖房費を助成した自治体に財政支援を求める意見書提出方について	×

12月27日緊急会議

〔市長提出議案／1件〕

区分	件名	結果
補正予算案	福島市一般会計（第13号）	○

(7) ふくしま市議会だより 令和4年2月1日発行

議会基本条例の取組状況を検証しました

福島市議会では平成26年4月に議会基本条例を施行し、その目的を達成するため、さまざまな取り組みを行い、その施行状況を毎年検証しています。

🔍 検証内容

基本条例の3つの基本方針

- ①市民に開かれた議会
- ②議員間の自由闊達な議論・討議を行う議会
- ③政策立案や政策提言を積極的に行う議会

に基づく取り組みを中心とした15項目

🔍 検証方法

各会派で会派評価を行った後、総合評価として議会改革検討会において評価および今後の取り組み方針を協議、決定

今後も議会基本条例の基本理念のもと、議会のあり方および諸課題について検討し、市民の皆さまに分かりやすく開かれた議会を目指してまいります。

👉 今後の取組方針（検証結果）

★市民に分かりやすい言葉・表現の方法を用いた議会運営、市民参加の推進、市長などに対する政策提言など11項目（A評価）

➡このまま推進すべき

★議案などに対する議員個人の賛否の公表、本会議・委員会での議員間の自由討議（B評価）

➡賛否の公表は、議会機能も備えた複合市民施設（仮称）市民センター建設の際に、議場への採決システムの導入を検討すべき

➡自由討議は、本会議では未実施であったが、引き続き制度の活用について検討すべき

★政策討論会の開催、積極的な政策立案（C評価）

➡実施に至らなかった。

各項目ごとの評価や今後の取組方針、各会派の会派評価など詳しい内容はこちらからご覧ください。



福島市議会ホームページをご案内します

福島市議会のホームページには、本会議のライブ映像や録画映像をはじめ、さまざまな議会の情報を掲載しています。ぜひご覧ください。



市議会 HP は
こちらから

サイトマップ（掲載内容一覧）をご活用ください

ホーム > 市政情報 > 福島市議会

福島市議会

- 市議会・議員紹介 >
- 会議日程等・傍聴案内 >
- 議会中継 >
- 福島市議会の取り組み >
- 請願・陳情 >
- 議案 >
- 市議会の広報 >
- 議長交際費執行状況 >
- 政務活動費 >
- 福島市議会の広報に関するご意見 >
- 議会関係者の行政視察受入 >
- 本会議及び委員会の会議録 >
- サイトマップ >

いいね! 0 ツイート 更新日: 2021年12月2日



トピックス

令和3年12月本例会議代表質問・一般質問登壇表（質問要旨）を掲載しました。 NEW

令和3年11月30日（火曜日）の本会議の録画映像を掲載しました。 NEW

令和3年12月1日の議会の動きを掲載しました。 NEW

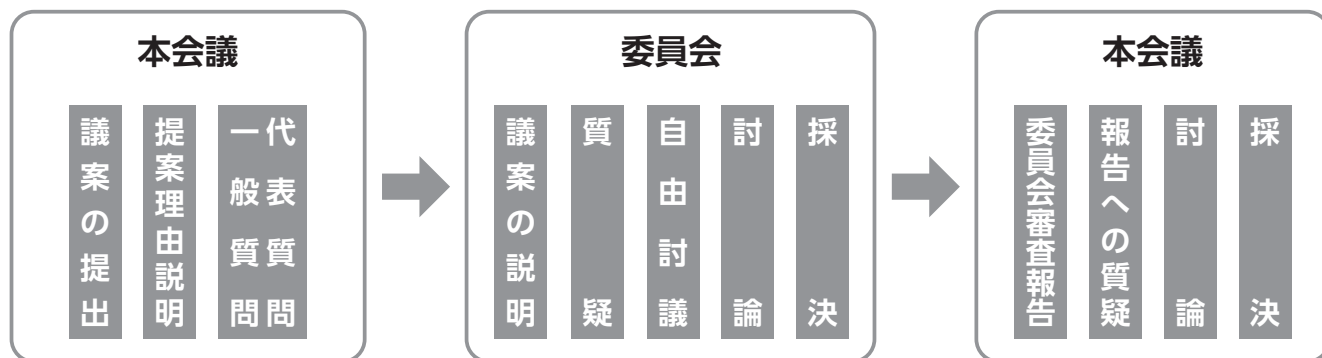
令和3年度の基本条例の施行状況確認の取り組みを更新しました。 NEW

令和3年12月定例会議の開催日時と議案の概要をお知らせします。

12月定例会議は、11月30日（火曜日）から開会します。各会議の日程は、こちらからご覧ください。

市議会のしくみ（議会の流れ）

福島市議会では会期を毎年8月1日から1年間とする通年会期制を採用しています。議案の審議、代表質問や一般質問は1年の会期の中の9、12、3、6月に開催される「定例会議」の中で集中して行いますが、必要に応じて「緊急会議」を開催します。また、1年を通して議会活動ができることから、各委員会が市の課題に対して自主的に行う所管事務調査を時期を逸せずに行うことが可能です。



本会議と委員会

●本会議

議員全員が集まって開く会議で、議会に提出された議案などの可否を最終的に決める会議です。

●委員会

議案のすべてを本会議の中で詳細に審議することは困難なため、専門的、能率的に審査を行う機関として設置しています。

代表質問と一般質問

◆代表質問

- ・構成員が3人以上の会派ごとに、会派を代表して1人が質問します。
- ・総括質問方式（一括質問の後に一括答弁する方式）で実施し、市長及び議員改選後の初定例会議では質問時間1人30分以内、3月定例会議では質問時間1人60分以内で行います。

◆一般質問

- ・定例会議ごとに、いずれの議員も一般質問を行うことができます。
- ・一問一答方式（質問ごとに、その都度答弁する方式）で実施し、質問時間は、答弁の時間を含め1人60分以内で行います。

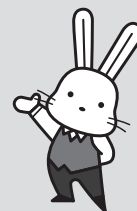
委員会の種類

常任委員会

議案や市民の皆さまから提出された請願・陳情の審査、所管する事務の調査などを行います。議員は少なくとも1つの常任委員会に所属します。

福島市議会が設置している常任委員会は次のとおりです。

- 総務常任委員会
- 文教福祉常任委員会
- 経済民生常任委員会
- 建設水道常任委員会



特別委員会

通常、議案は常任委員会で審査しますが、特殊な問題や議会で特に必要と認めたときは、特別委員会を設けて調査または審査を行います。

福島市議会では、予算・決算特別委員会が設置されるほか、現在は「複合市民施設に関する調査特別委員会」を設置しています。

議会運営委員会

議会の議事運営を円滑に進めるために専門的に協議を行います。

委員の定数は11人で、各会派から選出します。

令和3年**秋季**議会報告会・意見交換会を開催しました

議会基本条例に基づき、議会活動や市政に関する情報を市民の皆さまと共有し、あわせて市政全般について意見を交換するため、毎年春と秋に議会報告会と意見交換会を開催しています。

- 開催日時…11月2日(火)、3日(水・祝)、4日(木) 午後2時または午後6時から
- 開催場所・参加人数…吉井田・もちずり・北信学習センター、松川支所 4か所合計49名
- 第1部 議会報告会…令和3年6月・9月定例会議における議案審査の内容について、各委員会に所属する議員から報告しました。
- 第2部 意見交換会…皆さまからさまざまなご意見をいただきました。

～意見交換会でのご意見の一部をご紹介します～

- ✿ 通学路緊急安全対策として、カラー舗装やポールを立てている。こうした安全対策が大事。
- ✿ 休耕地の今後の活用について、市議会としてどう考えているのか。
- ✿ マイナポイントの汎用性を広げ、利便性を高めるべき。
- ✿ ごみの減量やリサイクルは、子どもたちへの意識づけを強めていくことで各家庭での意識も高まるのでは。



ご意見は、議員全員で共有し、今後の議会活動にいかしてまいります。
参加いただいた市民の皆さま、誠にありがとうございました。

議会報告会・意見交換会の詳しい内容・
結果はこちらからご覧ください。

次回の開催については、市議会だより、
市議会ホームページなどでお知らせします。



3月定例会議開催予定(3月1日～3月25日)

日	月	火	水	木	金	土
		1 本会議 (定例日)	2	3 休 会 (議案調査)	4	5
6	7 本会議 (代表質問)	8	9	10 本会議 (一般質問)	11	12
13	14 本会議 (一般質問)	15 常任委員会 予算特別委員会(分科会)	16	17	18	19
	議会運営 委員会	予算特別委員会 (全体会)			議会運営委員会	
20	21 (春分の日)	22 常任委員会 予算特別委員会 (分科会)	23 予算特別委員会 (全体会)	24 休 会 (事務整理)	25 議会運営 委員会 本会議 (採決等)	26

- ◆本会議は、通常午前10時から開会予定です。
- ◆3月定例会議で審議する請願・陳情の締め切りは、3月2日(水)午前11時です。
- ◆日程、開会時間は変更になる場合があります。詳しくは、議会事務局(☎525-3776)までお問い合わせください。

◆市議会広報に関するご意見をお寄せください。

〒960-8601 福島市五老内町3番1号
電話 024-525-3776
FAX 024-534-2520
福島市議会 広報委員会あて

◆市議会ホームページをご覧ください。

<https://www.city.fukushima.fukushima.jp/gi-soumu/shise/shigikai/>
発行：福島市議会 編集：広報委員会



市議会の HP は
こちらからご覧
ください。